

日本湿地学会は、

湿地の自然・人文・社会科学的な調査研究、
ならびに保全、ワイズユース（賢明な利
用）、CEPA（コミュニケーション、教育、参
加、普及）の推進をはかり、日本における湿
地研究の発展に努めることを目的としていま
す。

研究者・学生、NGO、企業、行政、市民等様々
なセクターの人たちが参加しています。

あなたも日本湿地学会に入会しませんか。



入会申し込み

正会員	個人（一般）	4,000円
	個人（学生会員）	2,000円
団体会員		30,000円

入会申込：
以下のQRコードもしくはURLのページから必要
事項をご記入ください。

湿地学会HP
[https://j-
wetlands.jp/about/register](https://j-wetlands.jp/about/register)



お問い合わせ先

日本湿地学会事務局
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学ポアソナードタワー14階 法政大学
資格課程実習準備室気付
笹川孝一

E-mail : info@j-wetland.jp

入会のご案内



日本湿地学会
Japan Wetland Society

主な論文

野崎健太郎・松本嘉孝「都市部の近接した湧水における水質と人間活動との関係：小学校理科教材としての可能性」湿地研究12(1) 43-72 2022年

金炫禎・伊勢紀・増澤直・福田正浩・小川博・安藤元一「GISを用いた日本におけるカワウソ生息適地の推定：韓国との比較から」湿地研究9(1) 17-27 2019年

稲富佳洋・日野貴文・島村崇志・長雄一・宇野裕之・吉田剛司「釧路湿原国立公園の異なる植生タイプにおけるニホンジカの採食の影響評価」湿地研究8(1) 17-32 2018年

富田啓介「湧水湿地の環境は東海地方においてどこまで理解されたか？」湿地研究8(1) 63-79 2018年

本学会の活動

○年次大会

年次大会では、口頭発表、ポスター発表のほか、公開シンポジウムを開催します。最新の湿地研究や湿地と関わる諸実践の成果を共有し、議論します。

○部会活動

日本湿地学会会員は「部会」を設置・運営し、研究成果を発表することができます。現在、以下の4つの部会が活動しています。

1. ため池部会
2. 湿地の文化、地域・自治体づくりとCEPA・教育部会
3. 北海道湿地コンソーシアム (Hokkaido Wetland Consortium)
4. 湿地サービス産業研究：湿地と企業ビジネスとの共生に向けて

○学会誌『湿地研究』(wetland Research)
湿地研究は、湿地を保全することを主な目的として設立された、自然科学と人文・社会科学の分野のすべてを包含する日本湿地学会の会誌です。

湿地研究は、具体的な保全研究と、湿地とはどういうものかという基礎研究の両輪を発展させること目指しています。

大学などの研究機関の研究論文の他に、個人、企業、団体、行政にも参加して頂き、査読なしの事例紹介、トピックスや保全活動記録なども含んでいます。

発表された論文や報告はQRコードもしくは、以下のURLのページから見るすることができます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/wetlandresearch/-char/ja>

